

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 163-0820  
 住 所 東京都新宿区西新宿2-4-1新宿NSビル  
 氏 名 住友不動産株式会社  
 代表取締役 仁島 浩順 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	住友不動産株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区駅前本町12-1		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	K	不動産業, 物品賃貸業
	中分類	69	不動産賃貸業・管理業
主たる事業 の内容	不動産の賃貸・管理		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		1,557 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	総務部
		所在地	東京都新宿区西新宿2-4-1新宿NSビル
	電話番号		03-3346-1054
	FAX番号		03-3345-0646
	メールアドレス		soumu@sumitomo-rd.co.jp
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成25年度 ～ 平成27年度 (報告年度 平成25年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

### 事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 3,016 t-CO <sub>2</sub> (調) 3,011 t-CO <sub>2</sub>	(実) 2,852 t-CO <sub>2</sub> (調) 2,848 t-CO <sub>2</sub>	(実) t-CO <sub>2</sub> (調) t-CO <sub>2</sub>	(実) t-CO <sub>2</sub> (調) t-CO <sub>2</sub>	(実) 2,986 t-CO <sub>2</sub> (調) 2,981 t-CO <sub>2</sub>
削減率		(実) 5.4 % (調) 5.4 %	(実) % (調) %	(実) % (調) %	(実) 1.0 % (調) 1.0 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	延床面積×稼働率		単位	t-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup> ×稼働率	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	0.09002	0.09504			0.08912
削減率		-5.6 %	%	%	1.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	平成25年度は総量で5.4%削減となった一方、原単位で5.6%の増加となりました。 原単位増加は、排出量の大半を占める川崎駅前タワーについて使用エネルギーが少ない事務所利用部分の入居率が13%減となったことが主な要因です。
第2年度	
第3年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○推進体制の整備</li> <li>○主要設備等の保全管理</li> <li>○エネルギー使用量等の把握、計測、記録等</li> <li>○空気調和の管理</li> <li>○空気調和設備の効率管理</li> <li>○空気調和設備の保全管理</li> <li>○照明設備の保全管理</li> </ul>
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○推進体制の整備 担当者異動の都度、推進体制の整備を実施。設備研修等の実施。</li> <li>○主要設備等の保全管理 設備等の管理標準の定期的見直し、改善。</li> <li>○空気調和設備の保全管理 フィルターの交換。ファンコイルユニットフィンの清掃の実施。</li> </ul>
	第2年度	
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	



## 4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	
第3年度	

## 5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	テナントに対して、温室効果ガス排出量削減に向けた取り組みを実施するように要請する。
第1年度	入居テナントの皆様に、引き続き政府の節電要請を案内し、昼休みの一斉消灯や不在室の消灯、空調の停止、冷房28℃・暖房20℃の設定等の温室効果ガス排出量削減に向けた取り組みを呼びかけました。
第2年度	
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	3,145	t-CO <sub>2</sub>
(調)	2,573	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO <sub>2</sub>
(調)		

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
川崎駅前タワー・リパーク	川崎市川崎区駅前本町12-1	6911	貸事務所業	3,024 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1以上1,500k1未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500k1 未満	
300～400k1 未満	
200～300k1 未満	
100～200k1 未満	
100k1 未満	4

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--